

居住支援九州サミットinべっぴの  
ホームページはこちら



## 居住支援 九州サミット in べっぴ

おおいたで学ぼう！  
全国で直面している  
「居住支援」の実態とその取組の最前線

入場  
無料

事前  
申込制



2024年

10月31日(木) 13:30-17:00  
(受付開始 12:30)

1階 中会議室

◀ 住まい・暮らしの  
支援をしている方向け  
(定員200名)

11月1日(金) 13:30-17:00  
(受付開始 12:00)

3階 国際会議場

◀ すべての方向け  
(定員250名)

大分県警音楽隊ミニコンサート  
(12:30-13:00)

別府国際コンベンションセンター(ビーコンプラザ) 別府市山の手町12-1

主催 大分県

共催 竹田市居住支援協議会, 豊後大野市居住支援協議会, 日田市居住支援協議会, 国東市居住支援協議会, 日出町居住支援協議会, 大分市居住支援協議会

後援 大分合同新聞社, NHK大分放送局, OBS大分放送, TOSテレビ大分, OAB大分朝日放送, J:COM大分ケーブルテレコム, 一般財団法人高齢者住宅財団



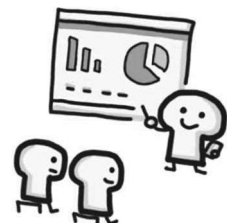
# — 資料目次 —

## 【10月31日】

- 竹田市居住支援協議会(たけたねっと)
- 豊後大野市居住支援協議会(偕生会)  
(NBU)  
(清川町支え合いのまちづくり仕掛人会)
- 日向市居住支援協議会(NPO 法人 Rim-Link-)
- 中部地域居住支援協議会の取組(愛知県・静岡県)
- NPO 法人住むケアおおいた
- 一般社団法人つみきの家
- NPO 法人やどかりプラス
- 大牟田市居住支援協議会
- 全国居住支援調査研究報告(一般社団法人北海道総合研究調査会)

## 【11月1日】

- 基調講演  
「居住支援のこれからを考える～「足下」から「その先」へ」  
【講師】  
日本大学文理学部社会福祉学科 教授 白川泰之
- 居住支援に関する話題提供  
改正住宅セーフティネット法の概要・施行について(国土交通省)  
改正生活困窮者自立支援法の概要  
～居住支援の観点から～ (厚生労働省)  
刑余者支援・再犯防止について (法務省)
- パネルディスカッション  
「いま足りないこと・これから必要なこと」  
【コーディネーター】  
東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授 大月 敏雄  
【パネリスト】  
認定 NPO 法人抱樸 理事長 奥田 知志  
大牟田市居住支援協議会  
NPO 法人大牟田ライフサポートセンター 事務局長 牧嶋 誠吾
- 大分県内の居住支援協議会



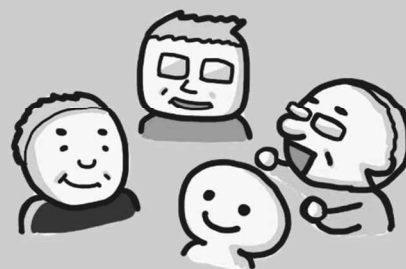


# 居住支援 九州サミット in べっぴ

おおいたで学ぼう！  
全国で直面している  
「居住支援」の実態とその取組の最前線

## — 10月31日 プログラム —

- 13:30 開会挨拶(大分県土木建築部審議監 岸本 和昭)
- 13:35～ 導入
- 13:45～ 事例発表  
①竹田市居住支援協議会(たけたねっと)  
②豊後大野市居住支援協議会  
(偕生会、NBU、清川町支え合いのまちづくり仕掛人会)  
③日向市居住支援協議会(NPO法人Rim-Link-)  
④中部地域居住支援協議会の取組(愛知県、静岡県)
- 15:05～ (休 憩)
- 15:20～ 事例発表  
⑤NPO法人住むケアおおいた  
⑥一般社団法人つみきの家  
⑦NPO法人やどかりプラス  
⑧大牟田市居住支援協議会  
⑨全国居住支援調査研究報告(一般社団法人北海道総合研究調査会)  
事例発表まとめ
- 16:55 閉会挨拶(大分県土木建築部建築住宅課長 伊東 幸子)





## 「居住支援」の最前線の取組から

### 事例発表

#### ①竹田市居住支援協議会

城下町にある築56年の建物を国の人生100年時代を支える住まい環境整備モデル事業でリノベーションし、女性専用の住まい「新町ウイズ」を本年5月にオープンしました。自助・互助・共助の考え方を実践し、地域社会に新しい住まいの在り方を提唱します。



#### ②豊後大野市居住支援協議会

2023年1月設立。事務局は市役所建設課と社会福祉法人偕生会が共同で担っています。居住支援法人でもある偕生会は、空き家と生活支援・就労支援を結びつけた「くすのきハウス」事業を2014年から展開しています。



#### (日本文理大学との連携事業)



日本文理大学工学部建築学科は、豊後大野市居住支援協議会の一員として、研究や教育と連動させた居住支援を行っています。今回は、昨年度実施した「地域で暮らし続けるための空き家リノベーション提案」と今年度取り組んでいる「外国人居住者との共生社会を実現するためのモノづくり・コトづくり」について発表します。

#### (清川町支え合いのまちづくり仕掛人会活動内容)

「この町でずっと暮らし続けたい」こうした声に応えるために、私たちの取組みは始まりました。立ち上げから2年7か月、町民の心の拠り所となった居場所、NPO法人と協働で進める大人食堂、暮らしの困り事解決のための「暮らサポ」等、できることから仕掛けています。



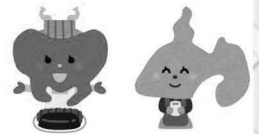
#### ③日向市居住支援協議会

日向市居住支援協議会は、官民合同で事務局を設置。特徴としては、お互いの困りごとを助け合うための「住まいに関する相談プラットフォーム」です。得意分野を生かす「餅は餅屋」と課題の解決と隙間を埋める「お互い様」を基本に活動しています。さらに、緊急用の短期居住シェルターを運営し、相談者の暮らしの再建に有効活用しています。

#### ④中部地方の居住支援協議会取組(愛知県・静岡県)

居住支援には居住支援団体、不動産関係者、市町村などが、それぞれの専門性を活かして手を取り合いながら相談対応にあたることが重要です。

それでは、都道府県の役割はなんでしょうか？中部地方で悩みながらも漸進を続ける愛知県、静岡県の取組みを紹介します！



#### ⑤NPO法人住むケアおおいた



“安心の暮らしは住まいから”をテーマに住居確保に始まり、生活支援、就労支援、住み替え・退去支援とトータルサポートを行います。必要な支援、環境、関係性のコーディネーターとして、“沢山の眼”で見守る体制作りを大切にしています。入居者支援が家主様の安心にもつながる居住支援、空室対策にも取り組んでいます。

#### ⑥一般社団法人つみきの家



私たちは、配慮が必要な方々が安心して住み続けることができるよう、「入居前」の相談支援だけでなく、「新たな場所に入居してからも」これらの方々が抱える多様な課題を解決してきました。それら具体的なケースをもとに支援方法をご紹介します。

#### ⑦大牟田市居住支援協議会

大牟田市居住支援協議会は、不動産、福祉・医療、法律、行政、学識経験者等の専門家で構成し、2013年6月に設立しました。住宅確保要配慮者に対する住まいの提供に加え、見守り等の生活支援を行っています。人口減少縮退社会の中、空き家対策を住宅政策に位置づけ、多職種による関係機関と連携し、利活用の推進や啓発セミナー、所有者向け無料相談会等の事業を展開しています。

#### ⑧NPO法人やどかりプラス

2007年設立。地域福祉の担い手と協働して入居時の保証を提供する「地域ふくし連帯保証」を鹿児島県全県で実施し、400名以上を保証しています。鹿児島県居住支援協議会の相談窓口を担い、年間約300件の相談に対応。住宅確保要配慮者自身が主人公となり、居住支援を行う「やどかりライフ」事業を通じて「当事者主体の居住支援」を目指しています。